

地震影響の有無関係

○ 1号機 I C (B)

- ・地震発生直後に自動起動し一旦停止した以降、一度も B 系の起動を試みていないがその理由は。(津波到達以降も A 系だけしか起動を試みていない)
- ・ I C 起動との関係で運転員が現場に入っているが、どのような作業をしていたのか。
- ・弁開した際、「蒸気発生を確認」としているが、具体的に現場でどのような状況を確認していたのか。

○ 1号機 C C S

- ・ I C で水位・圧力を維持し、原子炉を冷却し続ければ S R V が作動することはないにもかかわらず、C C S を起動し、当時 20℃ 程度であった S / C を冷却した理由は。

○ 3号機 H P C I

- ・自動起動以降、具体的にどのような操作を行っていたのか。
- ・なぜ水位レベルを高い位置に上げて維持せず、低い水位レベルのままとなるよう起動初期の段階から流量を絞ったのか。
- ・H P C I 停止後に R / B に入った際、R C I C 室にたどり着くまでの建屋内はどのような状況であったか。